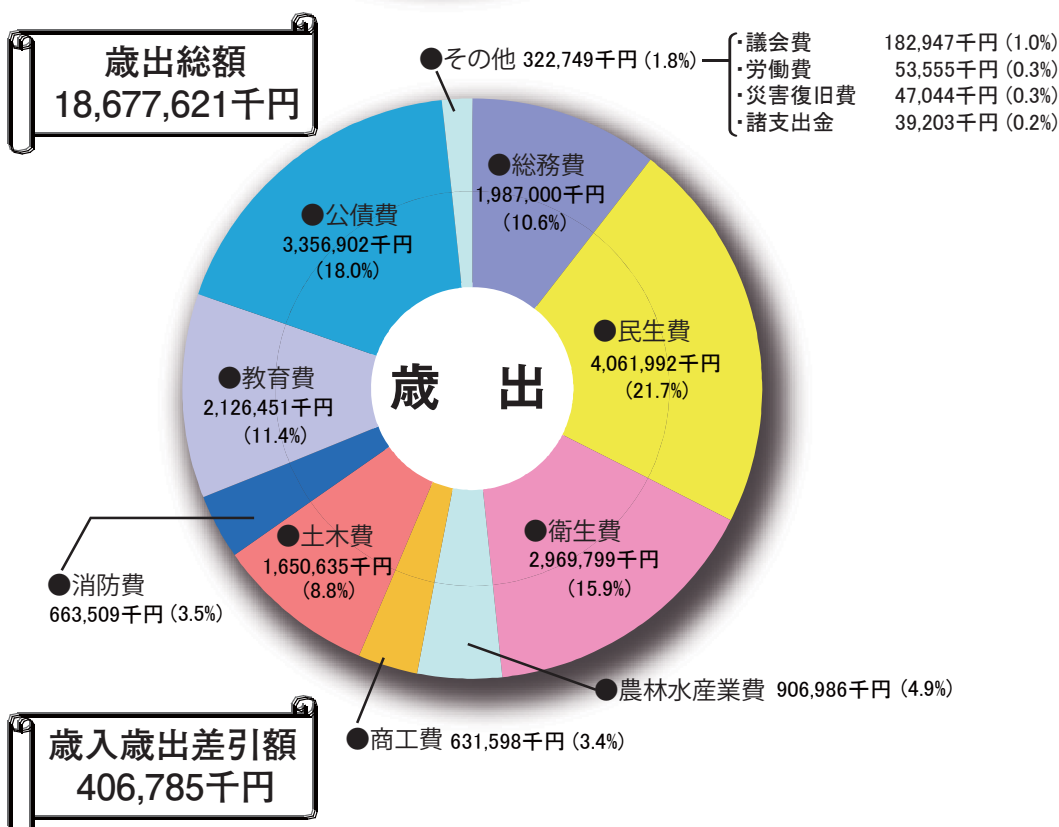
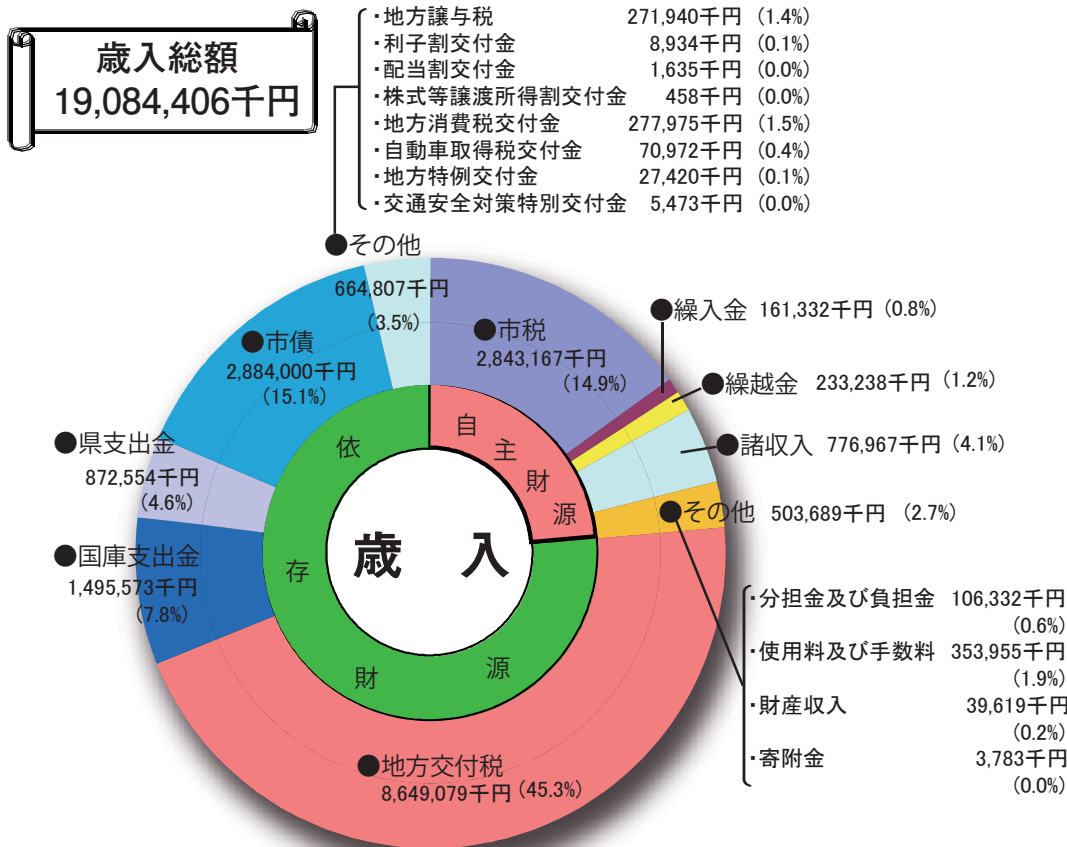


仙北市の平成20年度決算状況を次のとおり公表します

平成20年度の一般会計の決算額は、歳入総額の190億8,440万6千円に対し、歳出総額は186億7,762万1千円、歳入歳出差引額は4億678万5千円の黒字で、翌年度へ事業を繰り越す1億151万9千円を差し引いた実質収支は3億526万6千円の黒字となっています。また、予算額に対する決算額の比率は、歳入が94.9%、歳出が92.9%となっています。



市民1人当たりで見れば

人口 31,005人
(平成21年3月31日現在)



総務費 64,086円



民生費 131,011円



衛生費 95,785円



教育費 68,584円



農林水産業費 29,253円



土木費 53,238円



公債費 108,270円

その他 52,181円

歳入歳出差引額 406,785千円

特別会計

会計名	歳入	歳出	差引
集中管理特別会計	4,845,023千円	4,845,023千円	0千円
下水道事業特別会計	1,174,846千円	1,174,639千円	207千円
集落排水事業特別会計	772,231千円	772,126千円	105千円
浄化槽事業特別会計	99,426千円	99,351千円	75千円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	3,767,494千円	3,597,757千円	169,737千円
国民健康保険特別会計(田沢診療施設勘定)	51,480千円	30,157千円	21,323千円
国民健康保険特別会計(神代診療施設勘定)	151,633千円	94,731千円	56,902千円
老人保健医療特別会計	389,570千円	361,861千円	27,709千円
後期高齢者医療特別会計	254,148千円	253,866千円	282千円
介護保険特別会計	974,916千円	965,138千円	9,778千円
生保内財産区特別会計	105,077千円	59,165千円	45,912千円
田沢財産区特別会計	30,868千円	19,172千円	11,696千円
雲沢財産区特別会計	2,955千円	2,704千円	251千円
簡易下水道事業特別会計	209,433千円	209,341千円	92千円
合計	12,829,100千円	12,485,031千円	344,069千円

企業会計

会計名		収入	支出	差引
病院事業会計(角館)	収益的収支	4,023,037千円	4,224,223千円	△ 201,186千円
	資本的収支	717,000千円	791,421千円	
病院事業会計(田沢湖)	収益的収支	842,458千円	1,028,693千円	△ 186,235千円
	資本的収支	44,409千円	67,400千円	
病院事業会計(合計)	収益的収支	4,865,495千円	5,252,916千円	△ 387,421千円
	資本的収支	761,409千円	858,821千円	
温泉事業会計	収益的収支	35,133千円	29,127千円	6,006千円
	資本的収支	0千円	0千円	
水道事業会計	収益的収支	337,119千円	326,986千円	10,133千円
	資本的収支	337,331千円	407,713千円	

※収益的収支については、消費税及び地方消費税を除く。

仙北市の主な財政指標(平成20年度普通会計決算統計より)

基金現在高	2,238,492千円	財源不足への備えや、地域振興などの特定目的に活用するための積立金の現在高
地方債現在高	26,723,222千円	道路、河川、学校などの施設整備のために借り入れた地方債(長期借入金)の現在高
財政力指数	0.291	財政力を表す指標で、「標準的な行政を行うために必要な財源(基準財政需要額)に対する市税等自主財源(基準財政収入額)の割合」の過去3カ年の平均値。「1」に近いほど財源に余裕があり、地方交付税や補助金等への依存度が高いほど低くなる。 仙北市は市税の割合が歳入の約15%であり、県内の多くの市町村と同様、地方交付税等への依存度(約46%)が高くなっている。
経常収支比率	92.7	財政構造の弾力性を表す指標で、市税や地方交付税等の一般財源を人件費や、扶助費、公債費等の経常的経費にどのくらい充当しているかを表す。この比率が高いほど、公共事業等の臨時的経費に充てる経常一般財源の余裕がなく、財政は硬直化しているといえる。 仙北市は、昨年度(92.9%)と比較して0.2%改善している。
実質公債費比率	19.8	標準的な行政サービスを行うための財政規模(標準財政規模)に対する公債費(地方債の元利償還金、下水道や病院等の元利償還金に対する負担金、繰出金等も含む)の割合。この比率が高いほど、財政の硬直性が高い。18%未満が望ましいとされ、25%を超える団体は、地方債の一部が制限される。 仙北市は、これまでの下水道、道路等の施設整備に充てた地方債の償還がピークの時期を迎えているため、ここ数年20%前後の数値になっている。